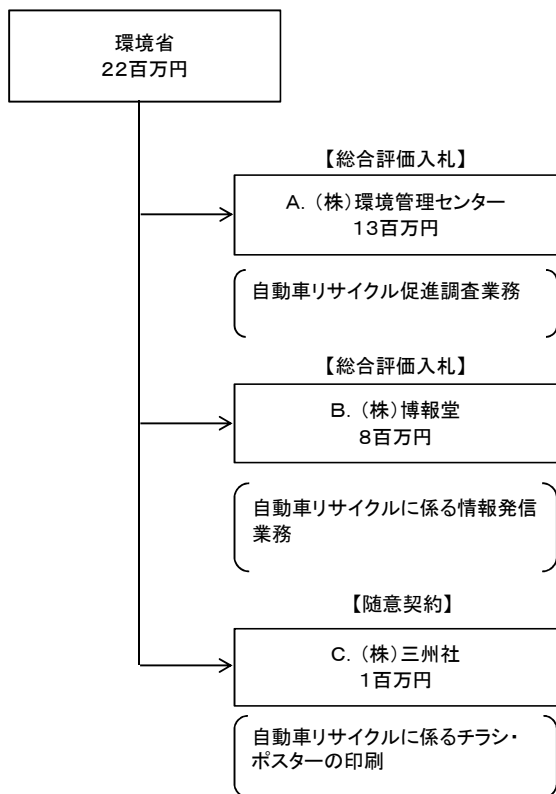


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	自動車リサイクル推進事業費		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者	室長 庄子 真憲		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～		担当課室	企画課リサイクル推進室					
会計区分	一般会計		政策・施策名	4. 廃棄物リサイクル対策の推進 4-2 各種リサイクル法の円滑な施行によるリサイクル等の推進					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	使用済自動車の再資源化等に関する法律		関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	産業構造審議会及び中央環境審議会の合同会議における自動車リサイクル法に関する評価や指摘を踏まえ、使用済自動車のリサイクルに係る調査・検討等を行い、自動車リサイクル制度の安定的な運用や使用済自動車の循環的な利用の高度化等を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	使用済自動車の適正かつ効果的なりサイクルを進めるための性状(放射性物質、金属、臭素系難燃剤等)の把握、自動車の3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進のための関係者の取組等の整理を行うとともに、海外における自動車のリユース・リサイクルに関する動向について調査を行う。また、使用済自動車の不適正な処理の撲滅を目指すとともに、自動車リサイクルに対する国民の理解を増進するために、自動車リサイクルに関する情報発信(ウェブサイトの更新、普及啓発・注意喚起のためのポスター・チラシの作成)を行う。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	10	11	9	7	15		
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
	計		10	11	9	7	15		
	執行額		7	12	22				
執行率(%)		70	110	246					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (各年度)	
	自動車リサイクル法における自動車破砕残さ(ASR)の再資源化率			成果実績	%	79.9～87	92～94	調査中	50(～H26) 70(H27～)
				達成度	-	達成	達成		
	自動車リサイクル法におけるガス発生器(エアバッグ類)の再資源化率			成果実績	%	93～100	92～100	調査中	85
			達成度	-	達成	達成			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	自動車リサイクル制度の安定的な運用等を図るための調査・検討等を行うものであり、定量的な活動指標の設定が困難である。			活動実績 (当初見込み)					—  ( ) ( ) ( )
単位当たりコスト	— (円/ )			算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	環境保全調査費	7	15	自動車リサイクル制度の高度化に向けた調査・検討を実施するため					
	計	7	15						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	自動車リサイクル制度の安定的な運用等を図るために、国が調査・検討を行うものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	競争入札により、競争性を確保している。また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	自動車リサイクル制度の安定的な運用等を図る上で、不可欠な事業である。作成したポスター・チラシは地方自治体、業界団体等を通じて広く掲示・配布されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	類似の事業はない。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>自動車リサイクル法の円滑な運用等を図る上で不可欠な事業である。          今後、自動車リサイクル制度の施行状況を踏まえ、事業内容の重点化を図るとともに、引き続き競争性を確保し、事業の効率化に努める。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	自動車リサイクル法の見直しを踏まえ、引き続き効率的な事業実施に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	引き続き効率的な事業実施に努める。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	—	平成23年	102	平成24年	101	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(株)環境管理センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		13			
本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。					
計		13	計		0
B.(株)博報堂			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		8			
本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。					
計		8	計		0
C.(株)三州社			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
		1			
本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。					
計		1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境管理センター	自動車リサイクル促進調査業務	13	2	96%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)博報堂	自動車リサイクルに係る情報発信業務	8	1	98%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三州社	自動車リサイクルに係るチラシ・ポスターの印刷	1	少額随契	